

會報

豫告の通り日本幼稚園協會總會は去る四月二十四日午後一時半から東京女子高等師範學校講堂にて開かれました。集まるもの凡そ二百人、筑前琵琶の演奏に先づ一同はおちついた氣分を味ひました。

二時過ぎより會長湯原元一氏の挨拶について内務省書記官田子一民氏の講演があり、その後の茶話會では會長も、田子先生もゆつくりお残り下さいまして、會員一同は打くつるいでいろ／＼のお話に花がさきました。散會しましたのは五時過ぎでした。當日會長のお話の要は次のごとくでした。

今日は内務省の田子一民先生が、御多用中をくりあはせてお出で下され、特に御講演下さる事ですから私共はゆつくりと拜聴したいと思ひます。同君は社會事業については深くまた久しく研究をかざれて居られます。將來は内務省の社會事業の行政の要路にあたられる方です。

幼稚園事業は今日迄教育事業の一つとして、之を學校系統から云へば一段ひくいも、様に看做され、日本などでは、幼稚園は學校系統に屬するもの、如く、また屬せぬもの、如くであつて、之に關する詳細な規定もない様であるが、しかし今では幼稚園が教育機關として最初の出發點であるといふ事は事實となつて來たので、教育系統の上に重大な位置をしめるわけである。米國では幼稚園は小學校と同じく公費であることが廣く行はれてゐる。日本では文部省が幼稚園に對する態度がどうも曖昧な様であるが、もし將來に於ては

きまると思ふ。またそうあらねばならぬ。これは教育の學問上の要求から來る事で、國によりていろ／＼ではあるが、教育が上にのびるとともに、下にものがびて、その全系統は延長されて行くべきである。その教育の方法が異なるのである。こは世界の大體の趨勢といふ事が出來やう。

ことに幼稚園は、現下の社會事業の發展とともに、別の意味で重要視されるのである。即ちその精神に於ては幼稚園であるが、その動機が救濟的になされたもの、託兒所の設立といふ事が、今大事な仕事となつて來た。貧民、勞働者が自ら教育する餘力も時間も有し得ぬ時、彼等の子供を預るのであつて、これは、諸種の社會問題とともに研究されねばならぬ。將來の幼稚園は一層擴張され、普及されなければならぬ。そしてこれが社會事業の一つとして、内務省の側にも屬するとなれば、こゝに實際はたらく保母その人の責任も一層感ぜられ、興味もまして來るわけである。教育といふ事業は順境にあるものを取扱ふよりも逆境にあるものについて苦心する所に教育上の發展はある、ヘスタロパツチもその相手は貧民であつた。貧民の子を苦勞して教育する、そして順境にあるもの、如く、或はそれ以上のものにするといふ事は實に至難な事であるが、之に成功する事に於て又、其貢獻も大なりと云はなければならぬ。私は今日も師範學校長會議に出席して、バラツク式でもよいから、師範學校に託兒所を設置したいといふ事を文部省に建議して來た次第で、これは今は米國にあられる本會主幹倉橋君が年來の主張であつたので、留守ではあるが、私が同君にかはつて、其の筋にその主張をしたわけ、大に盡力して早くこの實現を見たいと思つて居る。